

E G G (2002)

メディア 映画

ジャンル ホラー ドラマ ファンタジー

製作国 日本

色彩 Color

時間 73分

初公開日 2005/03/26

公開情報 スローラーナー

映倫 PG-12

【解説】

「恋愛寫真 Collage of Our Life」「トリック 劇場版」などを手掛ける鬼才・堤幸彦が原田大三郎とのコラボレーションで2002年に撮り上げた実験色の強い怪獣映画。2005年3月に一般公開が実現。主演はミス・コリア出身のチョ・ヘヨン。不気味な怪獣が体内に出現し、困惑、苦悩する一人の女性の姿を描く。

見知らぬ母娘の恐ろしげな映像に悩まされていた韓国人の若い女性、月子。一方で、彼女は幼い頃から、目を閉じるとまぶたの向こうにタマゴが見える奇妙な現象にも苦しんでいた。医者に相談しても、脳が作りだしたイメージに過ぎないとまともに取り合ってくれない。ところが、最近になってそのタマゴにひびが入り始めた。そしてある日、ついに殻を破り、おぞましい姿をした怪獣が出現したのだった。恐怖におののく月子。やがて怪獣は月子の内側から激しく体当たりを繰り返すようになる。月子は逃げることもできず、内側から傷ついていくのだが…。

【クレジット】

監督	堤幸彦	Yukihiko Tsutsumi
製作	森重晃 梅川治男 市山竜次	
原案	堤幸彦	Yukihiko Tsutsumi
脚本	堤幸彦	Yukihiko Tsutsumi
撮影	唐沢悟	
美術	稲垣尚夫	
編集	伊藤伸行	
音楽	見岳章	
VFXディレクター	原田大三郎	
照明	石田健司	
録音	井上宗一	
助監督	丸毛典子	
出演	チョ・ヘヨン 氏家恵 佐藤二郎 犬山イヌコ	